YouTube

18歳未満の青少年の固有のニーズに応えるおすすめコンテンツを構築

青少年は、新しいアーティストや音楽ジャンルの発見、さまざまな科目の勉強、創造性の探求など、幅広い目的で YouTube を利用しています。YouTube は、自己発見の時期にある青少年の生活において重要な役割を担っていることを認識しており、オンラインの世界のルールを学んでいる最中の若年層のため、より健全なエクスペリエンスを構築し、ツール、リソース、保護を提供することに深くコミットしています。

この取り組みは、YouTube で青少年の心身の健康を促進することを目的とする投資の一環として、さまざまな形で進められています。18歳未満の青少年を保護するために YouTube が提供している機能の一つが、コンテンツのおすすめ（機能）を構築することです。YouTube の体験を個別最適化し、視聴者がそれぞれの興味に合った動画を見つけて楽しめるよう支援します。

2023 年秋には、青少年向けに表示される動画に関する安全保護対策を強化しました。これにより、一度だけ視聴する分には問題ないものの、繰り返し視聴すると一部の若年層の視聴者にとって問題となり得るコンテンツのおすすめが制限されました。その後、世界中の青少年がこの種のコンテンツを繰り返し視聴することがないよう、該当コンテンツの表示頻度を下げる機能を開発しました。これらの安全保護対策の最初のリリースでは、コンテンツが 3 つのカテゴリに分類されていましたが、青少年と家族に関するアドバイザリー ボード との間で評価と話し合いを重ねた結果、対策を拡充し、コンテンツのカテゴリを以下の 6 つに増やしました。

YouTube と連携して上記のコンテンツ カテゴリを決定した「青少年と家族に関するアドバイザリー ボード」は、子ども向けメディア、子どもの発達、デジタル ラーニング、デジタル シチズンシップに詳しい外部の専門家から構成されるチームで、メンバーは学術分野、非営利団体、臨床分野などの経歴を持っています。2018 年に設立されたこの委員会は、十分に確立された研究結果や、各メンバーの専門知識に基づき、若年層世代のニーズの変化について YouTube に助言を提供しています。

青少年の視聴者の体験、特にアイデンティティ意識の確立について YouTube に助言し、このような安全保護対策の強化を支援することが、この委員会の特に重要な役割になっています。Yalda T. Uhls 氏は Center for Scholars & Storytellers 創設ディレクターであり、YouTube の青少年と家族に関するアドバイザリー ボードのメンバーです。Uhls 氏は次のように説明します

「青少年が視聴したいものを自分で選ぶのは健全なことです。彼らはそれぞれの関心を探求し、世界をさまざまな視点から見ています。そのようにして彼らは自主的に行動し、自分自身や所属するコミュニティに変化を生み出す力を身につけていきます。」

しかし、青少年は大人と比べ、コンテンツの中で理想化された基準に関するメッセージを繰り返し見た場合に、自分自身に対してマイナスの考えが生まれやすい年代です。ここに指針を適用するのはそのためです。青少年と家族に関するアドバイザリー ボードのメンバーであり、臨床医 / 研究者でもある Allison Briscoe-Smith 氏は次のように説明します。

「不健全な基準や行為を理想化するコンテンツの頻度が高くなると、潜在的に問題のあるメッセージが強調される可能性があり、こうしたメッセージは青少年の自分自身に対する見方に影響することがあります。指針を定めることで、自分を周りと比較する、自分をよく見せるといった青少年にとって自然な行為において、健全なパターンを維持することができます。」

このようなコンテンツの安全保護対策は、YouTube が長年実施してきた保護に加えて、18歳未満向けに拡充されるものであることが重要です。これは、子どもや家族向けコンテンツの品質原則を通じて、より低年齢の子ども向けに提供されている追加の保護対策と似ています。設立当初より、YouTube はコミュニティ ガイドラインによってプラットフォームで認められる行為と認められない行為を伝えてきました。今後もこれらのガイドラインを厳格に適用して、子どもの安全、有害または危険な行為、摂食障害、ヘイトスピーチ、ハラスメントに関するポリシーに違反するコンテンツを削除していきます。

これらの安全保護対策は、保護の必要性と、子どもや青少年の発達段階のニーズ（オンライン コンテンツへのアクセスとその発見を含む）に合わせて個別最適化された体験を提供することのバランスを取ったものです。YouTube は引き続きアドバイザリー ボードやその他の専門家と協力して、コンテンツのカテゴリを増やし、若年層や家族を対象とした製品、ポリシー、サービスを構築していきます。